

# 学校教育

Narashino Municipal Board of Education

# だより

習志野市で各地キャラ「ナラシド」

令和4年10月27日 発行

No. 130

発行・編集 習志野市教育委員会

☎ 047-451-1151 (代表)

習志野市ホームページ  
学校教育だよりはこちらから御覧いただけます

## 地域ボランティアの方々の関わり

挨拶は、心と心の合言葉。明るくあいさつを交わし、気持ち良い一日がスタートします！



東部体育館前で挨拶活動をしてくださっている皆さん



東習志野小学校は、朝から地域の「挨拶ボランティア」の方々が、校区の様々な場所で活動され、日頃から温かい目で見守ってくださっています。児童は見守り活動から、挨拶の大切さと交通安全のルール等を学んでいます。三丁目町会の湊川さんは「子どもたちから元気をもらっている。これからも子どもたちの安全安心を守っていききたい。」と、四丁目町会の川口さんは「子どもたちの様子を毎日見ている、どんどん成長していく姿を見るのが励みになっている。」と話していました。また東部体育館前では、盲導犬のベリーちゃんと共に右柳さんが挨拶活動をしてくださっています。本地域の見守り活動は30年近くの歴史があり、児童の安全安心を守ろうと、地域を挙げて力強く支えてくださっています。今後も連携を強化して、児童のために協力していききたいと思います。(東習志野小学校 校長 藤本 真由美)

表紙の写真は、東習志野小学校の登校風景の様子です。多くのボランティアの方が週の初めに正門前へ立ち、元気に挨拶をするとともに、児童生徒の安全を見守っています。

現在、教育現場では、開かれた学校から一歩踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって児童生徒を育む「地域とともにある学校」への転換を求められています。挨拶ボランティアの取組は、まさに地域と一体となって児童生徒を育む一例であると言えます。

本号では、このような地域の方を交えた取組(総合防災訓練等)及び各学校の特色ある教育活動を紹介いたします。

### 《第 1 3 0 号》

### 「地域とともに歩む学校づくり」

### 《目 次》

- ボランティアの方の取り組み(東習志野小) … 1
- 総合防災訓練(大久保東小、袖ヶ浦西小) … 2
- 安全教育(藤崎小)/音楽コンクール関係/薬物乱用防止標語コンクール … 3
- 食育(第三中)/歯・口の健康啓発標語コンクール … 4
- 英語発表会/音楽鑑賞教室(鷺沼小) … 5
- わくわく学びランド/夏季研修/フレンドあいあい … 6
- 特色ある教育活動紹介~屋敷小学校~ … 7
- 習高ニュース/教育長コラム … 8

# 習志野市総合防災訓練



令和4年9月11日、本市15の小学校（実籾小学校は改修工事のため体育館使用不可）と実籾高校において、習志野市総合防災訓練が行われました。各学校の御協力のもと、地域の方、自衛隊や消防団の方などに、「自助」、「共助」、「公助」について多くのことを学び、実践する機会となりました。

## 大久保東小学校

今回、総合防災訓練に職員として初めて参加しました。説明書を見ながらコツコツと簡易ベッドを組み立てる人、積極的に話しかけ緊張をほぐしてくれる人等、それぞれの方が自身の得意分野で力を発揮していました。

災害時は、いろいろな方が不安を抱え避難してきます。私は地域の方と協力しながら、避難してきた方の不安を少しでも解消できるように努めていきたいと思います。

（大久保東小学校 安全主任 関口 直人）

プライベートな空間を保つための段ボール間仕切りを作成



## 袖ヶ浦西小学校

地域の人と共に訓練スタート



本校では、避難訓練や学習を通して安全・防災学習に力を入れて取り組んでいます。

先日の習志野市総合防災訓練にも4～6年生の希望児童が参加しました。

シェイクアウト訓練後、受付での水の配付、避難所資機材の組み立てや後片付け、炊き出しなどの手伝いをしました。待ち時間には地域の方に新聞スリッパの作り方を教え、話をしながら一緒に活動することで交流の場にもなりました。自分達にできることを見つけ、進んで働く姿は地域の方からも好評でした。

地域の一員として、小学生の自分たちにもできることがあるという自信をもつことができたようです。避難所の体験だけでなく、地域コミュニティーの場としても有意義な経験になりました。いざという時のためにも、今回のように地域の方と関われる機会を大事にしていきたいと思います。

（袖ヶ浦西小学校 安全主任 南 友美子）

一緒に簡易ベッドづくり



新聞スリッパづくりを伝授



心肺蘇生法講習



袖ヶ浦西小学校では、年間を通して防災教育を実施しており、その一環として今回の総合防災訓練を位置付けています。今後、児童主体で炊き出しを行う予定もあり、地域と学校が共通認識の下、児童生徒を見守り、育む「地域とともにある学校」の一例であります。



# 令和4年度 学校安全教室講習会

令和4年度学校安全教室講習会が7月26日に船橋市宮本公民館で開催されました。この講習会で実践発表を行った藤崎小学校の例を一部紹介します。

また、この講習会では、実践的な安全教育・安全管理等の推進、事故発生時における学校の危機管理の在り方、再発防止を含めた事故防止対策等に関する講習を実施し、各学校の参加者が受講内容を共有し学校安全の取組の充実を図るものとなりました。

## 藤崎小学校の実践

### 研究テーマの設定理由

- 昨今の刃物を使用した事件の発生
- 池田小事件から20年が経ち、学校の不審者対応訓練が形骸化していることへの懸念
- 本校の構造上の危険
  - ・ 正門側が森に面しており、人目に付きにくく侵入に気づきにくい構造になっていること
  - ・ 裏門は、道路に面しているが、人通りが少ない

防犯に関する安全管理に焦点化

### 実践報告 ～講師の指導 さすまたの使用方法～



☆さすまたを持つ位置に注意する

- ・ さすまた前方を持つと、不審者が刃物を所持している場合に負傷することがある。
- ・ 不審者の手が届かない位置を持つようにする。

### 実践報告 ～講師の指導 さすまたの使用方法～



☆1人は前方からもう1人は後方から

不審者の後方にいる職員は、膝元を狙うことで、バランスを崩すことができる

### 実践報告 ～講師の指導 緊急時における校内放送～

- 刃物を所持している場合等、明らかに緊急性が高い場合

校内放送でも、非常事態を宣言する

- ・ 校庭にいても伝わるような大声で周囲に伝える
- ・ 近隣住民にも伝えてもよい

習志野警察署生活安全課の方3名に講師となつていただき、実際に不審者対応訓練を行いました。教職員は校内危機管理マニュアルを基に行動、一方、不審者役の警察の方は、予定にはない想定外の行動もとってもらったこととしました。

## 安全教育に係る実践を通して

令和4年8月の千葉県学校安全教育講習会にて、「安全管理の重要性について」というテーマで実践発表を行いました。昨今、不審者に関わる事案が増えていることから、不審者対応訓練の重要性を感じ、コロナ禍においても可能な訓練内容を考えて実践し、警察による助言を受けました。「学校安全の手引き」には、防犯に関する安全管理の項目があり、実践してみると、当該年度の職員や教室配置による課題が明らかとなりました。本校は、令和4年度・5年度に安全教育の県指定を受けています。今回の実践を踏まえて、学校全体で安全教育を追究し、児童にとってより安全安心な教育活動の場を提供していきたいと思つています。

藤崎小学校 安全主任 早川 歩

## NEWS 祝 全国大会出場!



### 全日本吹奏楽コンクール出場

習志野市立習志野高等学校 習志野市立第四中学校

### 全日本バンドフェスティバル・マーチングコンテスト出場

習志野市立習志野高等学校 習志野市立第二中学校

習志野市立第四中学校 習志野市立大久保小学校

### 日本学校合奏コンクールグランドコンテスト全国大会

習志野市立習志野高等学校 習志野市立第一中学校 習志野市立谷津小学校

### 東日本吹奏楽コンクール出場 習志野市立実花小学校

マーチングコンテストや合奏コンクールでは、2年連続、小・中・高が揃っての全国大会出場という快挙を成し遂げました。全国大会は10月から11月にかけて、府中、名古屋、郡山、大阪などで開催されます。全国大会で各学校がベストな演奏ができるよう、心よりお祈りしております!!

おめでとう!

## NEWS

## 薬物乱用防止標語コンクール

### 祝 優秀賞 (中学生の部)

「少しだけ」壊れる未来は「少し」じゃない 第一中2年 杉本 紘乃さん

# 食に関心をもってもらうために

## 第三中学校 食の充実に向けた取組

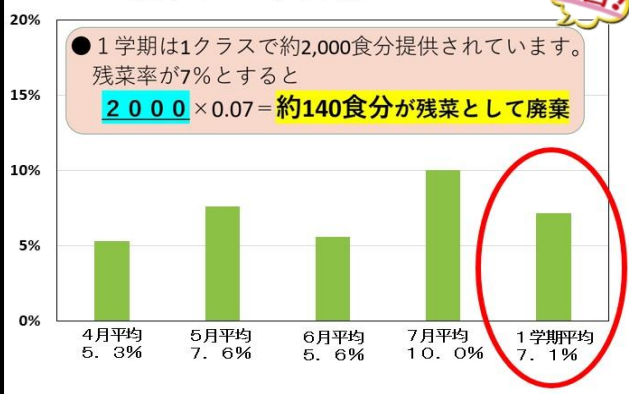


各学校では、児童生徒の発達段階に応じて食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校教育活動全体で食に関する指導を行っています。今回は、第三中学校の取組を紹介いたします。

### 給食の残菜を計量しています！



残菜率 R4(1学期)



### 家庭科の「食育」の授業で取り扱う内容の一部を紹介します。



#### 第三中学校 栄養教諭 河邊 早苗

第三中学校では、「朝食」、「給食ができるまで」、「残菜」、「献立作成」などの食育授業を行っています。

また毎年7月には、体験学習として、特別支援学級の生徒がとうもろこしの皮むきを行っています。(現在はコロナ禍のため中止)

授業や体験学習を通し、食が健康の基盤を作り、夢を実現する力となることを伝えていきます。中学校を卒業した後も、自ら健康を考え、適切な食の選択ができる生徒を目指しています。

### 地産地消

### ランチルームに掲示

#### 習志野にんじんが出来るまで

☆極の土づくりから出荷まで(鷺沼の農家 廣瀬博さん 作)



調理員さんが残菜量をチェックし、学級ごとに残菜率を出しています。子供たちが、日常の食生活の中で食品ロスについて考えるきっかけとしています。

### 給食とSDGsを考える。

SDGsとは？→持続可能な開発目標。  
 ※2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

2 飢餓をゼロに



17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人取り残さない」ことを誓っている。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。

### NEWS

## 千葉県歯・口の健康啓発標語コンクール



**祝** 千葉県歯科医師会長賞 (小学生の部)  
 「マスクとり みんなにみせたい 白い歯を」 袖ヶ浦東小4年 寺脇 慶生さん

**祝** 千葉県歯科医師会長賞 (中学生の部)  
 「きれいな歯 健康長寿の 第一歩」 第二中3年 天羽 可朋さん

**祝** 全日本学校歯科保健優良校奨励賞 習志野市立第三中学校



# 令和4年度英語発表会



## 昨年度に引き続き、市民ホールでの英語発表会

8月26日(金) プラッツ習志野にて、市内中学校の代表者が集まり、英語発表会が行われました。参加した生徒は、夏季休業中にも練習に取り組み、その成果を十分に発揮することができました。小学校における外国語活動、外国語の実施に伴い、英語スピーチの素地を養い、中学校でさらに醸成させることができ、出場者全員が高いレベルのスピーチを行っていました。



各部門の表彰式

## 各部門3位入賞者

### Recitation Division 3<sup>rd</sup> Year

|     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 第1位 | 第三中 | 明 梓珊  |
| 第2位 | 東邦中 | 伊藤 有花 |
| 第3位 | 東邦中 | 旗持 花埜 |

### Recitation Division 1<sup>st</sup> Year

(敬称略)

|     |     |        |       |
|-----|-----|--------|-------|
| 第1位 | 第一中 | 村田 美音叶 |       |
| 第2位 | 第一中 | 馬目 莉子  |       |
| 第3位 | 第五中 | 小野 里紗  | 島田 笑那 |

### Recitation Division 2<sup>nd</sup> Year

|     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 第1位 | 第四中 | 菊池 華瑛 |
| 第2位 | 第一中 | 三代川 晶 |
| 第2位 | 第三中 | 鎌田 圭允 |

### Speech Division

|     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 第1位 | 東邦中 | 石川 茉和 |
| 第2位 | 第二中 | 小坂 友莉 |
| 第2位 | 第六中 | 石川 亜樹 |

東邦中の石川さんは市の代表として県大会へ出場しました。



## 鷺沼小学校音楽鑑賞教室を参観して



9月27日(火) 鷺沼小学校の体育館からは、素晴らしいオーケストラの音色が響きわたっていました。県で唯一のプロのオーケストラである「千葉県交響楽団」による学校音楽鑑賞教室が開催されました。児童生徒の情操の涵養を図ることを目的とした、県及び県教育委員会共同での「令和4年度学校音楽鑑賞教室事業」で、プロのオーケストラの本格的な生演奏を味わえました。



1年生～3年生(第一部)のプログラムは、喜歌劇「天国と地獄」よりギャロップの軽快なリズムの曲から始まりました。子供たちに親しみのある映画音楽やメドレーに、児童はリズムに合わせて体を動かし、鑑賞していました。4年生～6年生までの第二部では、各学年の代表児童が指揮者体験をしました。プロのオーケストラの指揮者ということで、緊張しながらも強弱をつけて指揮をしている姿は誇らげでした。「また指揮をしてみたい。」と意欲的な感想もありました。アンコール曲では、児童の手拍子はだんだんと大きくなり、会場全体の一体感を味わうことができました。テレビやタブレット端末の画面からではなく、音楽を五感で感じ、本物に触れる良さを改めて体感できる素晴らしい時間となりました。(指導課 田中指導主事)



# 令和4年度 わくわく学びランドその2

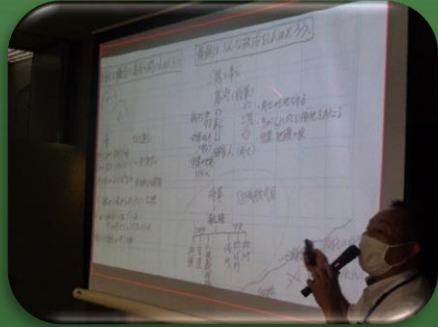


科学教室を、8月18日に実施しました。東邦大学の皆さんに、たくさんの科学体験コーナーを準備していただき、とても楽しい時間を過ごしました。風力で動くレゴカー作り、ちりめんモンスター探し、シジミ釣り、電気分解コーナーなど、児童が夢中になって体験することができました。

学習教室を、8月22日、23日、25日、26日、29日に実施しました。児童が、夏休み中の課題等で分からないところを退職校長会の先生方に教わりました。児童からは、丁寧に分かりやすく教えていただいて、うれしかったという声がたくさん聞かれました。

(総合教育センター 笹原指導主事)

# 令和4年度 初期層教職員研修



**<小学校教科指導法基礎研修>**  
 実施日：8月2日(火)  
 小学校の初期層教職員を対象に実施しました。国語指導の基礎基本を、指導課の近藤指導主事より学びました。どの授業でも、教師が事前に、要点を具体化して、準備しておくことの大切さを学ぶことができました。

**<中学校学級経営基礎研修>**  
 実施日：8月4日(木)  
 中学校の初期層教職員を対象に実施し、特別支援教育の視点を取り入れた学級経営の在り方を、市総セの高橋指導主事より学びました。個々の特性を理解した学級づくりの大切さを再認識するよい機会となりました。

**<初期層教職員研修>**  
 実施日：8月5日(金)  
 教育長講話では、初期層教職員が学校運営の中核としての自覚をもち職務にあたることを、お話いただきました。また、千葉県総合教育センターの研究指導主事から、保護者との関係づくりを学び、具体的な対応を学び合うことができました。

(総合教育センター 笹原指導主事)



# 令和4年度 フレンドあいあい自然体験学習



9月22日(木)、小学5年生から中学1年生までの6名が参加して、鹿野山自然体験学習に行ってきました。九十九谷展望公園からの眺めは素晴らしく、その中での昼食は格別で、全員で美味しく食べることができました。昼食後は秋の気配を感じながらハイキングを楽しみ、自然の家の先生の分かりやすい植物の説明に興味深く聞き入っていました。火起こし体験では、「まいぎり」「ゆみぎり」「ひもぎり」の3つの方法で火をつけることができ、とても嬉しそうで満足した表情を見せていました。自然の家のブランコや木登りも楽しむことができ、教室では味わえない経験を通して、仲間同士の交流も深めることができました。お世話になった鹿野山少年自然の家の先生方、ありがとうございました！

(総合教育センター適応指導教室 滝田指導員)



# 習志野市立屋敷小学校



児童数：789人 教職員数：46人

学級数30（知的特別支援学級2，自閉症・情緒特別支援学級4）

学校教育目標 自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成

私たちのまち 習志野の学校

リレー連載 No. 14

あしたのハーモニーが響くまち

屋敷小学校は、1972年（昭和47年）に創立し、今年度が51年目にあたります。習志野市の南東に位置し、幕張新都心にも近接し、京成大久保駅とJR幕張本郷駅にはさまれた交通の便のよい住宅地を学区としています。

本校の敷地内には公立幼稚園（屋敷幼稚園）、中学校（第六中）が隣接し、公立保育所（本大久保第二保育所）等も近くにある文教地域となっており、幼・保・小・中の連携を図るには恵まれた環境にあります。

今回の「リレー掲載」では、①体育科研究 ②地域とのつながり ③吹奏楽部の活躍について特集でお伝えします。



創立50周年記念のイベントの様子（R3）

## 体育科研究



屋敷小学校の体育科研究は、1978年（昭和53年）に千葉県教育委員会から体育科研究校として指定されたことに始まりました。当時は、「フォークダンスをしても、なかなか手をつなげない」という児童の実態があり、その頃の様子を知る方々の話では、体育学習を通して健やかな体と心を育成したいという強い願いがあったようです。研究指定を受けた翌年の1979年に第1回体育科公開研究会を開催し、今年度は、第40回目の公開研究会を迎えます。



体育科研究の中で、重点的に取り組んでいる運動領域が「表現運動」です。1年生から6年生、特別支援学級の全学級で取り組んでいます。「表現運動」を長年にわたり全校で取り組む研究のスタイルは珍しく、本校の大きな特徴の一つと言えます。40年以上の時を経て、「6年生になっても自信をもってダンスや身体表現ができる。」「誰とでもすぐにグループを組み、仲良くできる。」「フォークダンスですぐに手をつなげる」といった本校児童の姿に、大きな研究の成果を感じ取っています。



## 地域とのつながり



屋敷小学校は、地域住民の要望から建設計画が進み、さらに学校用地も地域住民が提供したという経緯があり、古くからの地域住民には「自分たちの学校」という意識が強いです。「屋敷ばやし」や「ばか面踊り」などの地域の伝承行事もよく保存されています。



児童と地域の関わりの中には「さつま芋の苗植え」があります。東日本大震災前には、秋の収穫祭まで、全校児童と農家の方が交流できる一大行事でした。

現在は、コロナ禍も重なり、3年生が学校代表で交流を続けています。

今年度も5月に地域の方々と苗植えを行い、収穫を楽しみにしているところです。



## 吹奏楽部の活躍



9月11日（日）の東関東吹奏楽コンクールに千葉県代表として本校吹奏楽部が出演しました。全校児童の応援を背に力を出し切り、銀賞を受賞することができました。毎日の練習により力をつけていく姿は、全校児童のよき模範となっています。



# 雑草の如く遅しく

## ～習志野高校ニュース～

習高では、今年度から自分の興味や目的に合わせて学びを深める自己発展学習がスタートしました。

英検合格を目指す「英語セミナー」では、9月28日から3回にわたり、神田外語大学の学生ボランティアにより、習高生のために、学習支援が行われました。

どの生徒も、いつにも増して真剣に取り組む様子が見られました。



高大連携 神田外語大学の学生ボランティアによる説明の様子

## 文武両道の文!!

10月11日からの一週間、3年生の家庭総合の時間に、東日本産直ビーフ研究会様と日本プロ農業総合支援機構様から外部講師を招いて、地産地消の推進を目指した食育の授業を行いました。

講師の先生による分かりやすくリアルな説明では、ニワトリが卵からかえって食肉として出荷されるまでのあまりの早さに、驚きの声もれる場面もありました。

牛肉の安全性を確認できる「トレーサビリティ」の仕組みと確認方法、牛肉の部位による食味や栄養素の違いなどを学習した上で調理と試食を行い、学んだことを実体験できる貴重な時間となりました。



外部講師による「トレーサビリティ」の説明と調理の様子

## ～好きですふるさと習志野～ 教育長コラム

「伝えるのは、命」…これは北海道旭川市にある旭山動物園のテーマです。旭山動物園は行動展示で有名になり、恩賜上野動物園を抜いて月間入園数、日本一を記録したこともあります。この動物園は旭川市が運営する公立の施設であり、飼育担当の職員は当然、公務員です。先日、この職員に焦点をあてた番組が放送されていました。動物のことを学んだ「専門家」として採用される職員だけではなく、全く畑違いの部署から異動になり、「すぐに辞めたい。」「市役所（事務局）の仕事に戻してほしい。」と考える方が多いそうです。番組では、ある男性職員の異動直後から現在までの仕事ぶりが紹介されていました。内容は、ベテラン職員が動物に指示をするとスムーズに動くのに、新人である自分の言うことは聞いてくれない、それどころか姿すら見せてくれません。そこで、動物が自分のことを信用してくれないのだと考え、悩み、悔しい思いをします。その後、このような経験をもとに彼は、「生半可な気持ちで命を扱うことはできない」と覚悟し、飼育に没頭します。そうなる、動物のためにと様々なアイデアを考えるようになり、試行錯誤しながら仕事を進めます。そして、いつしか動物園から離れたくないと考えるまでになり、仕事に誇りと愛着を持つようになったと話されていました。さて、この夏、幼い子が送迎のバスに取り残されて亡くなるという痛ましい事故が発生し、安全や命を守ることに對して警鐘が鳴らされました。教育という仕事は、言うまでもなく、児童・生徒の命に関わる仕事です。改めて「覚悟を決めて命に向き合う」ことを肝に銘じておきたいものです。

(教育長 小熊 隆)